

平成 30 年度 第 2 回（公社）大気環境学会常任理事会 議事要旨

日時 平成 30 年 8 月 8 日（水）14 時～17 時

場所 電力中央研究所大手町地区 727 会議室

出席 大原利眞会長、伊豆田猛、大泉毅、内藤季和、中井里史、速水洋、松田和秀各常任理事

欠席 畠山史郎副会長、近藤明副会長

議題

1. 平成 29 年度事業報告について

平成 29 年度事業報告（案）について説明があり、承認された。今年度の主な留意点は以下の通り。

（1） 会員の状況

正会員は前年比 28 名の減少、法人会員 A は 1 名の減少、法人会員 B は 2 名の増加、学生会員は 9 名の減少、賛助会員は 16 団体（19 口）で現状維持であった。

（2） 研究会による受託調査研究等の実施

ペーパーリターン研究会が環境省から「平成 29 年度 PM_{2.5}等に関する文献調査業務」の受託調査を実施した。

（3） 出版等

例年通り、大気環境学会誌を 6 号、AJAE を 4 号、それぞれ刊行するとともに、入門講座集等のダウンロード販売を継続した。

2. 平成 29 年度収支決算について

平成 29 年度財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録等）について説明があり、承認された。主な留意点は、以下の通り。

- ① 当期経常増減額は¥ 1,434,882 の赤字であり、2 年連続の黒字から赤字に転じた。正味財産合計額は、¥680,128 であり、前年度の ¥ 2,115,010 から、大幅に減少した。
- ② 経常収益では、会費収入が会員数減少により、前年に比べて ¥ 275,000 減少。事業収入では、調査研究事業収入、掲載料収入、会誌販売収入等の減少があった。
- ③ 経常費用のうち、事業費では、大気環境学会誌の印刷経費が前年に比べて ¥ 59 万の減少、委員会運営費が ¥ 30 万増加した。
- ④ 経常費用のうち、管理費では、事務費は ¥ 34 万の減少。

この結果を踏まえて今後の対応について議論し、掲載料収入減少の原因について調査するとともに、本年度は電子ジャーナル化・事務局移転前の過渡期であることから支出削減と広告収入・

事業収入の増加に更に取り組むこととした。また、会員数を増やすためには、気候変動研究分野を強化する必要があるとの指摘があった。

3. 平成 29 年度監査結果について

平成 30 年 8 月 1 日に行われた平成 29 年度監査には、野口、平木各監事、中井理事、大泉理事、小御門氏（会計事務所）が出席した。監査結果について、以下の通り説明があり、承認された。

(1) 監査内容：①平成 29 年度事業実績について、②平成 29 年度一般会計決算について

(2) 監査報告：監査の結果、事業は適正に実施され、会計決算については、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録と帳簿、証拠書類を監査したところ正確に処理されている。

(3) 監査要望事項

- ・ 平成 29 年度単年度収支は再び 1,434,882 円の赤字決算となったが、印刷費の削減等が功を奏し、一般正味財産期末残高が 680,128 円とかなり黒字を確保できた。
- ・ しかし、学会運営の根幹をなす会費収入や学会誌発行等の事業収入の減少傾向は、さらに深刻な状況にあり、来期には赤字転落の可能性が大きいと予想される。
- ・ したがって、本学会が財政的に極めて危機的状況にあることを会員全体で認識を共有し、会員や事業収入の増加が期待できる魅力ある学会となるため積極的に取り組むとともに、収入に見合った支出となるよう事務局体制および事業計画の早急な検討を強く要望

4. 平成 30 年度第 1 回理事会議案（電子メール決議）について

平成 30 年度第 1 回理事会の議案として、会長が、理事及び監事の全員に対して、議案書（第 1 号議案：平成 29 年度事業報告の件及び第 2 号議案：平成 29 年度収支決算の件について）を発信し、メール審議を行うこととした。法人法第 96 条の規定に基づき、事前に理事全員から議案承認の同意書を受領し、法人法規則 15 条 4 項に拠って議事録を作成することにより、理事会決議を省略する。

5. 平成 30 年度総会議事について

第 59 回年会総会及び平成 30 年度定時総会議事について、事務局提案通り承認された。

6. 事務局移転の取り組み・電子ジャーナル化について

事務局から、学会誌の電子ジャーナル化について、具体的な取り組みを進める必要があるとの提案があり、法人会員、賛助会員等に対し、個別にお知らせの文書を発送することとした。また、関係する業者への連絡や契約変更のおおよその時期を決めた。一方、事務局移転については、来年の年会後を目途に移転する方向で準備を進めることとした。

7. 60 周年記念募金について

事務局から、60 周年記念募金の状況について報告され、引き続き、役員が中心となって積極的に募金を進めることとした。

報告

1. 第 59 回年会の開催準備状況について

- ① 年会の概要、年会時の理事会、総会、各委員会等の開催計画等が事務局から説明され、年会事務局と調整の上決定することで、承認された。
- ② 第 59 回年会鶴野年会長から、今後の年会運営に関して、要旨集の作成、機器展のあり方、年会参加費等について意見が提出され、今後、理事会や第 60 回年会実行委員会において検討することとした。

2. 第 60 回年会の準備状況について

伊豆田理事から、実行委員会等実施体制の確立や大防法施行 50 周年を含む特別集会等の準備を開始した旨の報告があり、了承された。

3. 第 61 回年会の開催時期について

第 61 回年会の開催時期が、東京オリンピック・パラリンピックに影響される可能性があるという情報提供があった。今後、情報収集を図り、適宜対応することとした。

3. 平成 30 年役員選挙の結果について

事務局から、役員選挙の結果（投票率、理事、監事当選者、次点等）について報告があった。理事・監事当選者には、既に就任承諾の回答を得ており、9 月 11 日に開催する理事準備会に出席を要請することとした。

4. AJAE 誌の有料頒布について

現在、韓国大気環境学会から、50 部を購入し、役員・関係者に配布しているが、これを中止し、2019 年から単価 2,000 円で希望者に販売することとした。

5. 国際交流委員会

松田担当理事から、今年の日中韓交流として中国の学会（11 月 2～4 日、青島）に松田理事、奥田 AJAE 委員長が参加すること、AJAE 誌のインパクトファクター取得に向けて具体的な検討が進められていることが報告され、了承された。

6. その他

60 周年記念事業、大気環境の事典の進捗状況について報告があり、了承された。

以上

資料（リストのみ掲載）

1. 平成 29 年度事業報告（案）
2. 平成 29 年度財務諸表（案）
3. 平成 29 年度監査関係資料

- 3.1. 平成 29 年度監査報告書
- 3.2. 平成 29 年度監査結果
4. 平成 30 年度第 1 回理事会議案関係
 - 4.1. 平成 30 年度第 1 回理事会議案書
 - 4.2. 平成 30 年度第 1 回理事会議案同意書（理事、監事宛）（案）
 - 4.3. 平成 29 年度事業報告及び収支決算案説明資料
※ メール理事会送信文書（案）
5. 電子ジャーナル化に関する具体化について
資料（報告関連）
6. 第 59 回年会の開催準備状況関係資料
 - 6.1. 第 59 回大気環境学会年会のお知らせ（第 5 報）
 - 6.2. 第 59 回（公社）大気環境学会年会総会・平成 30 年大気環境学会定時総会議事次第
 - 6.3. 理事会・総会・委員会等開催計画
 - 6.4. 今後の年会運営に関する意見
7. 第 61 回の年会日程について
8. 役員選挙関連資料
9. 60 周年記念産官学民連携セミナー企画案について